

ボランティア活動報告 2016

『第11回 みなとのまち 100km 徒歩の旅』

日時：2016年8月6日～11日

尚絅学院大学では、被災地支援をはじめ、教育支援や地域のイベントなど様々なボランティア活動に学生が参加しています。今回は、実際に活動に参加した学生の声をお届けします！！

《活動紹介》

今年で12回目を迎える「みなとのまち 100km 徒歩の旅」は、地域子ども達が、2市3町（宮城県の塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町）の100kmにおよぶ道のりを、4泊5日かけて歩き抜く活動です。

学生スタッフは、本番まで救命救護やマッサージ、子どもとの関わり方などを約15回の研修で学び、当日の事業に臨みます。

《研修の様子》

研修では、子ども達と安全に100kmを歩くために5つの班に分かれて準備を行います。子ども達と一緒に歩く歩行班、体調管理を行うセーフティーネット救護班、安全を守る先導後備班、食事や休憩所の設営、給水などを行う生活給水輸送班、みんなの笑顔を記録する広報記録班。班ごとに課題を解決するため、たくさん話し合い、時にはぶつかりながらも本番に向けて意識を高めていきました。



研修の中では、本番の前に5日間のコースを歩く「試歩」というものを行います。普段1日に20km以上歩くことはないので貴重な体験です。試歩では、危険な場所や、交通量の多い場所などを事前にチェックしたり、本番を想定した子ども達への声掛けの仕方を練習します。実際に子ども役をつくることで、具体的な子どもとの関わり方を学ぶことができます。また声を掛け合いながら歩くことで、スタッフ同士の絆も深まります。



《本番5日間の様子》

子どもたちが11班に分かれて5日間を歩きました。はじめのうちはホームシックにかかる子や、馴染めない子もいましたが、日にちが経つにつれ班の絆が深まり、苦しい時もみんなで支え合うことができました。特に今回は、子ども達108名が1人も遅れることなく完全完歩することができました。

本番4日目の夜には、レクリエーションをしました。紙飛行機にそれぞれの夢を書いて飛ばし、手にした他の飛行機に応援メッセージを書いてあげます。子どもたちは、コメントを読んでとてもうれしそうでした。最後には、右の写真のような作品に仕上げました。



☆尚絅学院大学からの参加者の声



子ども学科 4年 早坂静華

私は、今年で4年目の参加になります。5日間、夏の暑い日に100kmを歩くことは大変ですが、仲間と子どもたちと一緒に乗り越えてきました。ゴールでは、達成感と感動で涙が溢れてきました。本当に、大好きな場所です。



人間心理学科 4年 及川龍哉

去年「みな100」に参加して、素晴らしい仲間と出会い、子どもたちの笑顔と成長を実感することができました。この感動があったからこそ私は今年も「みな100」に参加します。

○今年の開催について

みなとのまち100km 徒歩の旅は今年も開催します!

新しい学生スタッフを募集していますので、まずは是非「学内説明会」にご参加ください!!

昼休み説明会 日時 4月17日(月) 12:10~12:30
4月19日(水) 12:10~12:30

【場所】4号館112教室

【場所】ボランティアステーション

放課後説明会 日時 4月20日(木) 16:15~17:15
4月24日(月) 16:15~17:15

【場所】ボランティアステーション

【場所】ボランティアステーション

NPO 法人みやぎみなとまちづくり市民会議

文構成：子ども学科 4年 早坂静華 / 人間心理学科 4年 及川龍哉